

島根総合発展計画「地域づくりの方向」 変更等一覧

指摘頂いた事項等		対 応												
<p><b>1</b> p38 の広域連携の方向と p32 の広域エリアの表現は矛盾している。広域エリアの「広域」という言葉ははずすべき。県東部エリアの「県」という言葉ははずすべき。</p> <p><b>2</b> 広域エリアを二つに分ける理由を明確にする必要がある。</p> <p><b>3</b> 江の川を中心に考えると、邑智郡は浜田圏域ではなく大田圏域に入っている。西部でくくってしまうとごちそうがない。</p> <p><b>4</b> 広域合併が進んでいる中で、行政的な視点から7圏域に分けるのはいかがか。7圏域と広域エリアの接点をどうとらえていけばいいのか。</p>	<p><b>5 追加</b> 7つの圏域の見方・括り方に固執すれば、実生活や文化面など無理が出てくるし、東部・西部エリアなど多様な視点で「地域・発展」に重きを置いた更に広域かつ臨機な発想を用意しておく必要があるのではないか。浜田・江津地域には江の川という大きな河川があり、広島県北部に続いており、これらの地域では昔から現在まで物流・交流がある。このような人・自然・歴史が作りあげてきた仕組みを上手く使えるような方策も十分に考えておくべきではないか。</p> <p><b>6</b> 地域という概念は地理的概念で発想するよりは、政治的・政策的な考えを組み合わせて説得力ある説明が必要。</p>	<p>御指摘を踏まえて再検討を行い、構成も含め修正を行いました。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">変更前</th> <th style="width: 50%;">変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第5章 地域づくりの方向</td> <td>第5章 地域づくりの方向</td> </tr> <tr> <td>1. 圏域別の発展方向</td> <td>この章のねらいと、ゾーン設定等の考え方の説明を冒頭に挿入</td> </tr> <tr> <td>2. 広域エリアごとの発展方向</td> <td>1. 東西エリア別の発展方向</td> </tr> <tr> <td>3. 中山間地域における方向性</td> <td>2. 圏域別の発展方向</td> </tr> <tr> <td></td> <td>3. 中山間地域における方向性</td> </tr> </tbody> </table> <p>7圏域は、地域経済を捉えるに当たり、島根県全域では広域に過ぎる一方、経済活動や住民生活は市町村の枠内には留まっていないとの判断の下、重複や白地が生じない線引きとして便宜的に採用した設定であり、これにより県内を切り分けたり、いずれか一方に属するとの判断を伴うものではありません。それぞれの圏域内での自己完結を目指すものではないことなどの説明も含め、修正を行いました。</p> <p>県下一律の施策展開を図るだけでなく、それぞれの地域が持つ優れた価値と潜在能力を最大限に活かした産業振興策・地域経済活性化の方向を示そうとするものであり、東西エリアの設定については、県西部の市町からいただいた、「石見ブランド」といった考え方で打ち出していくべき」といった意見も参考にしながら、計画案を作成したところです。</p> <p>この章は、東部・西部という2つのエリアで鳥瞰した際の強みの抽出と、地域ごとのより詳細な分析を行うために設定した7圏域ごとの考察や、特定テーマと位置づける中山間地域での取り組みなど、複合的な視点から、市町村とともに方向性を見いだそうとしたところである旨の説明を、章の冒頭に加筆しました。</p>	変更前	変更後	第5章 地域づくりの方向	第5章 地域づくりの方向	1. 圏域別の発展方向	この章のねらいと、ゾーン設定等の考え方の説明を冒頭に挿入	2. 広域エリアごとの発展方向	1. 東西エリア別の発展方向	3. 中山間地域における方向性	2. 圏域別の発展方向		3. 中山間地域における方向性
変更前	変更後													
第5章 地域づくりの方向	第5章 地域づくりの方向													
1. 圏域別の発展方向	この章のねらいと、ゾーン設定等の考え方の説明を冒頭に挿入													
2. 広域エリアごとの発展方向	1. 東西エリア別の発展方向													
3. 中山間地域における方向性	2. 圏域別の発展方向													
	3. 中山間地域における方向性													

指摘頂いた事項等	対 応
<p><b>7</b> 道州制を見通した島根の位置付けを議論しておく必要がある。</p>	<p>第5章では、たとえば中国地方や中四国地方といった広域的な視点から見た島根の特性や、発展の方向性を示すため、「エリアごとの発展方向」の項を設け、県境を越えた広域的な取組み等についても述べています。道州制の議論が本格化する中、まずは、様々な分野において、隣県等との連携を図り、住民にも実感できる一体感を醸成する取組みを進めていくことが、重要であると考えます。</p>
<p><b>8</b> 広域エリアは、国土形成計画のブロック別の計画と整合性をとること。</p>	<p>「エリアごとの発展方向」においては、ブロック別計画の策定状況を見極めながら整合をとっています。</p>
<p><b>9</b> 発展の方向は誰が主役となってやるのか明確でない。</p>	<p>この章において示す産業振興方策は、地域の皆様が共通の認識の下で、同じ目標に向かって力を結集される際の一定の方向を示すことをねらいとしています。各地域において、様々な主体による相互理解や協同の取組みが推進されるなど、活力のある地域づくりに向けてこの計画が役立つことを期待しています。</p>
<p><b>10</b> 市町村の役割が見えない。県と市町村と住民などが集まって協議会的なものを作って、考え方の整合性をとって進めていく必要がある。</p>	<p>「地域づくりの方向」は、すべての産業分野の底上げを図ることはできないことから、まず県と市町村が同じ方向性を確認することが不可欠との考えに基づき、市町村の御協力の下で調整を行ってきたところです。地域の皆様が共通の認識の下で、同じ目標に向かって力を結集されることを期待しているところあり、この計画の周知等も含め、総力を結集した取組みとなるよう、様々な主体による産業振興に向けた動きが整合性をもって進んでいくよう、県としても努めてまいります。</p>
<p><b>11</b> 広域エリアでは観光だけでなく、他の分野でも連携・広域化について記述すべき。</p>	<p>経済的发展を図っていく上で、様々な産業分野において広域的な連携を図ることは、極めて重要であると考えます。このため、観光に限らず、商工業や農林水産業などの分野においても、広域的かつ戦略的に推進すべき項目について記述するよう努めたところです。特に、観光の分野においては、県境を越えた民間や周辺自治体での新たな取組みが活発化していることから、記述が多くなっています。</p>

指摘頂いた事項等	対 応				
<p><b>12</b> 東部エリア（p34）の記述では、中海宍道湖沿岸大経済圏構想を入れられないか。</p> <p>周辺に波及し、商業連携ができるという発想の文言を。</p>	<p>中海・宍道湖圏域が持つポテンシャルや山陰地域の発展に果たすべき役割の重要性については、「(1)特性」の中でも言及しているところです。「大経済圏構想」等を掲げるといった考え方もあろうかと思いますが、この章では、そのような経済圏が成立するための方向性を具体的に描くことに主眼を置きたいと考えます。</p> <p>こうした観点からは、まずは住民をはじめ、商業も含めた産業・経済の分野においても、実感できるようなこのエリアの一体感を醸成しつつ、広域的な視点に立った2次交通の整備などの具体的な取組みを、様々な主体と連携しながら進めていくことが重要であると考えます。</p>				
<p><b>13</b> 東部エリアの特性(p34)で「大山」を入れられないか。</p>	<p>下記のとおり表現を改めました。</p> <table border="1" data-bbox="739 764 2668 1066"> <thead> <tr> <th data-bbox="739 764 1703 827">変更前</th> <th data-bbox="1709 764 2668 827">変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="739 831 1703 1066"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県東部エリアは、宍道湖、中海、神西湖、美しい海岸線、<u>雄大な景観を有する隠岐</u>など豊かな自然や、出雲神話などの特有の歴史・文化を有する地域です。</li> </ul> </td> <td data-bbox="1709 831 2668 1066"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 東部エリアは、宍道湖、中海、神西湖、美しい海岸線、<u>雄大な景観を有する隠岐・大山</u>など豊かな自然や、出雲神話などの特有の歴史・文化を有する地域です。</li> </ul> </td> </tr> </tbody> </table>	変更前	変更後	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県東部エリアは、宍道湖、中海、神西湖、美しい海岸線、<u>雄大な景観を有する隠岐</u>など豊かな自然や、出雲神話などの特有の歴史・文化を有する地域です。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 東部エリアは、宍道湖、中海、神西湖、美しい海岸線、<u>雄大な景観を有する隠岐・大山</u>など豊かな自然や、出雲神話などの特有の歴史・文化を有する地域です。</li> </ul>
変更前	変更後				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県東部エリアは、宍道湖、中海、神西湖、美しい海岸線、<u>雄大な景観を有する隠岐</u>など豊かな自然や、出雲神話などの特有の歴史・文化を有する地域です。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 東部エリアは、宍道湖、中海、神西湖、美しい海岸線、<u>雄大な景観を有する隠岐・大山</u>など豊かな自然や、出雲神話などの特有の歴史・文化を有する地域です。</li> </ul>				

指摘頂いた事項等	対 応					
<p><b>14</b> 北東アジア地域は日本もその中に含まれている概念なので、北東アジア地域の対岸という言葉は引っかけ。北東アジア地域大陸部の対岸とか別の表現にすべき。</p> <p><b>15</b> 浜田港の貿易はもっと大きな構想で考えられないか。北東アジア全体、島根県全体の貿易の問題として考えられないか。</p>	<p>下記のとおり表現を改めました。</p> <table border="1" data-bbox="739 306 2671 667"> <thead> <tr> <th data-bbox="739 306 1703 369">変更前</th> <th data-bbox="1709 306 2671 369">変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="739 373 1703 667"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>県内唯一の国際貿易港である浜田港は、北東アジア地域の対岸に位置し、同地域の発展に伴って今後貿易額の増加が期待されます。近年では、中古自動車の対ロシア輸出を中心に、輸出額が増加しています。</u></li> </ul> </td> <td data-bbox="1709 373 2671 667"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>浜田港は、北東アジアの大陸部の対岸に位置し、同大陸部の発展に伴って今後貿易額の増加が期待されます。また、県内唯一の国際貿易港であることから県西部地域のみならず、本県の貿易振興の拠点としても期待されています。</u></li> </ul> </td> </tr> </tbody> </table>		変更前	変更後	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>県内唯一の国際貿易港である浜田港は、北東アジア地域の対岸に位置し、同地域の発展に伴って今後貿易額の増加が期待されます。近年では、中古自動車の対ロシア輸出を中心に、輸出額が増加しています。</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>浜田港は、北東アジアの大陸部の対岸に位置し、同大陸部の発展に伴って今後貿易額の増加が期待されます。また、県内唯一の国際貿易港であることから県西部地域のみならず、本県の貿易振興の拠点としても期待されています。</u></li> </ul>
変更前	変更後					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>県内唯一の国際貿易港である浜田港は、北東アジア地域の対岸に位置し、同地域の発展に伴って今後貿易額の増加が期待されます。近年では、中古自動車の対ロシア輸出を中心に、輸出額が増加しています。</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>浜田港は、北東アジアの大陸部の対岸に位置し、同大陸部の発展に伴って今後貿易額の増加が期待されます。また、県内唯一の国際貿易港であることから県西部地域のみならず、本県の貿易振興の拠点としても期待されています。</u></li> </ul>					
<p><b>16</b> 7圏域と広域エリアの発展方向の内容に重複が多い。東部と西部の違いを際立たせて、他県との連携の必要性を強調してもらいたい。</p>	<p>7つの圏域がそれぞれで自己完結するのではなく、広域的な視点から考察することが重要であるとの意見を反映し、東部エリア・西部エリアを新たに項目立てして記載することとしたところです。同じエリアの資源等を扱うこととなりますが、視座が違いができるだけ明確になるよう努めたところです。</p> <p>他県との連携の必要性については、経済団体等の御意見も伺いながら、検討を加えました。</p>					

指摘頂いた事項等	対 応				
<p><b>17</b> 「地域資源活用促進法」に基づく地域産業資源の並び順がわかりにくい。</p> <p><b>18</b> 雲南圏域の特性（p46）では、合併前の各町村で自慢できるものを一つずつ入れられないか。</p>	<p>7圏域とも、わかりやすい分類ごとに並びかえました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・松江圏域の修正例 和菓子、宍道湖七珍、ドジョウ、水産練り製品、雲州人参、八雲塗、出雲石灯ろう、清水寺など</li> </ul> <p>それぞれの圏域を代表する特徴的な資源を、市町村等とも調整して記述したところです。</p> <p>「圏域の特性」の中で重複掲載されている資源の再整理などを行い、地域資源活用促進法に基づく地域産業資源を、より多く掲載するよう見直しを行いました。</p>				
<p><b>19</b> 松江圏域の観光資源（p39）に風土記の丘を追加して欲しい。</p>	<p>松江圏域の特性を下記のとおり改めました。</p> <table border="1" data-bbox="736 884 2674 1367"> <thead> <tr> <th data-bbox="736 884 1703 947">変更前</th> <th data-bbox="1709 884 2674 947">変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="736 951 1703 1367"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・松江城周辺や県立美術館、足立美術館、安来節演芸館などの歴史的・文化的要素の強い観光資源とともに、夕景をはじめとし四季折々に表情を変える宍道湖や、玉造温泉、松江しんじ湖温泉などが存在することから、国際文化観光都市である松江市を中心に多くの観光客が訪れています。</li> </ul> </td> <td data-bbox="1709 951 2674 1367"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>松江城周辺や風土記の丘周辺の史跡や景観、県立美術館、足立美術館、安来節演芸館など、歴史的・文化的要素の強い観光資源に恵まれています。</u>また、夕景をはじめとし四季折々に表情を変える宍道湖や、玉造温泉、松江しんじ湖温泉などが存在することから、国際文化観光都市である松江市を中心に多くの観光客が訪れています。</li> </ul> </td> </tr> </tbody> </table>	変更前	変更後	<ul style="list-style-type: none"> <li>・松江城周辺や県立美術館、足立美術館、安来節演芸館などの歴史的・文化的要素の強い観光資源とともに、夕景をはじめとし四季折々に表情を変える宍道湖や、玉造温泉、松江しんじ湖温泉などが存在することから、国際文化観光都市である松江市を中心に多くの観光客が訪れています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>松江城周辺や風土記の丘周辺の史跡や景観、県立美術館、足立美術館、安来節演芸館など、歴史的・文化的要素の強い観光資源に恵まれています。</u>また、夕景をはじめとし四季折々に表情を変える宍道湖や、玉造温泉、松江しんじ湖温泉などが存在することから、国際文化観光都市である松江市を中心に多くの観光客が訪れています。</li> </ul>
変更前	変更後				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・松江城周辺や県立美術館、足立美術館、安来節演芸館などの歴史的・文化的要素の強い観光資源とともに、夕景をはじめとし四季折々に表情を変える宍道湖や、玉造温泉、松江しんじ湖温泉などが存在することから、国際文化観光都市である松江市を中心に多くの観光客が訪れています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>松江城周辺や風土記の丘周辺の史跡や景観、県立美術館、足立美術館、安来節演芸館など、歴史的・文化的要素の強い観光資源に恵まれています。</u>また、夕景をはじめとし四季折々に表情を変える宍道湖や、玉造温泉、松江しんじ湖温泉などが存在することから、国際文化観光都市である松江市を中心に多くの観光客が訪れています。</li> </ul>				
<p><b>20</b> 益田圏域の観光では、石見銀山だけでなく、これに代わってポイントとなるものを上げられないか。</p>	<p>下記の通り表現を改めました。</p> <table border="1" data-bbox="736 1486 2694 1730"> <thead> <tr> <th data-bbox="736 1486 1670 1549">変更前</th> <th data-bbox="1676 1486 2694 1549">変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="736 1554 1670 1730"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・石見銀山遺跡など県内他圏域の観光資源との連携や、山口県・広島県との連携を進め、広域的な周遊観光を推進します。</li> </ul> </td> <td data-bbox="1676 1554 2694 1730"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>津和野など圏域内の観光資源と石見銀山遺跡など県内他圏域の観光資源との連携</u>や、山口県・広島県との連携を進め、広域的な周遊観光を推進します。</li> </ul> </td> </tr> </tbody> </table>	変更前	変更後	<ul style="list-style-type: none"> <li>・石見銀山遺跡など県内他圏域の観光資源との連携や、山口県・広島県との連携を進め、広域的な周遊観光を推進します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>津和野など圏域内の観光資源と石見銀山遺跡など県内他圏域の観光資源との連携</u>や、山口県・広島県との連携を進め、広域的な周遊観光を推進します。</li> </ul>
変更前	変更後				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・石見銀山遺跡など県内他圏域の観光資源との連携や、山口県・広島県との連携を進め、広域的な周遊観光を推進します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>津和野など圏域内の観光資源と石見銀山遺跡など県内他圏域の観光資源との連携</u>や、山口県・広島県との連携を進め、広域的な周遊観光を推進します。</li> </ul>				

指摘頂いた事項等	対 応
<p><b>21</b> 隠岐の観光を考える上でも交通の便が悪すぎる。フェリーのダイヤ、小さな船の就航など何か考えられるのではないか。</p>	<p>住民や観光客などの利便性の確保につながる増便は、事業主体の経営悪化を招きかねないこと、また、就航率を向上するためには、コストの増加を伴う船舶の大型化が必要となることなど、様々な面で相反することが多い条件の中で、バランスをとりつつ運航体制やダイヤを編成しているのが現状です。</p> <p>こうした制約の中でも、利用者の利便性向上を図るため、利用者の使いやすいダイヤ編成に向けた取組み等を進めることとしており、実施計画の中でも、主な事務事業として記載することとしました。</p>
<p><b>22</b> 隠岐は、観光も含めて島根の財産として考えられないか。</p>	<p>「隠岐圏域の発展の方向」は、御意見と同様な視点からの記載に心がけたところです。</p>
<p><b>23</b> 水産資源が今後も保持されるか不安。養殖などについて大学等の技術、外部からの資金を導入する必要がある。</p>	<p>島根県では漁船漁業が主体であることから、水産資源保持の視点からも、漁業秩序の確立等を通じた資源管理や栽培漁業の取組み、特産的な魚種を対象とした漁場造成などに、取り組んでいるところです。</p> <p>御指摘は重要な課題です。上記の取組みに加え、試験研究機関との連携などにより、持続的で健全な漁業が確立されるよう取り組んでいきたいと考えており、実施計画の中でも関連する事業を掲載することとしました。</p>
<p><b>24</b> 中山間地域の方向性（p61）では、高齢者が中山間地域でも明るく安心して住める構想の具体策を書いて欲しい。</p>	<p>多様な主体の参画による、集落を越えた新たな地域運営の仕組みづくりなど、新しい視点も加え、高齢者の方も安心して暮らせる地域づくりを進める施策展開を加筆しました。</p>
<p><b>25</b> 発展も大切であるが、足場を固め衰退しないような計画を立てていけないといけない。</p>	<p>「第5章：地域づくりの方向」は、「基本構想編」の一部を構成するものであり、御指摘の内容は、第3章・第4章で述べるとともに、その具体を「実施計画編」で明らかにしています。</p>

指摘頂いた事項等	対 応
<p><b>26</b> 県民と行政が協働して、皆の意識を高めて島根を作っていこうということでないといけない。行政に求めるだけでなく、住民が何をできるのかという意識をエンカレッジする視点も必要。</p> <p><b>27</b> 人づくりの視点が必要。人がいなければ地域の発展性もない。</p>	<p>御指摘は、重要な視点であり、第3章においても、「島根の強みを活かす新しい発展を目指して」と「県民総力の結集」の項を立てて示したところです。</p> <p>特に、県民の皆様の自主的・主体的な行動は、この計画の推進に向けて不可欠の力となることから、大きな期待を寄せているところでもあり、「実施計画編」では、具体的取組み紹介や、県民の皆様への呼びかけ等も、記載する計画です。</p> <p>「人づくり」に関しては、「基本目標 : 心豊かなしまね」に属する政策・施策において、具体的推進方策を示しました。</p>
<p><b>28</b> 自分が住んでいない地域のイメージもつかんでいく必要がある。</p> <p><b>29</b> 地域産業資源はビジュアルでわかるといい。</p>	<p>この計画を読んでいただくことで、それぞれの地域の魅力や強みを知るきっかけとなることを期待しています。多くの皆様に御理解・御賛同をいただくことが重要であることから、説明会などでのビジュアル資料の利用等も含め、様々な工夫をまいります。</p>
<p><b>30</b> 広聴会では中学生、高校生にも呼びかけて、子供たちにも興味を持てるような項目も入れて欲しい。</p>	<p>広聴会では、県民の皆様がこの計画に対して関心や興味が深まるよう、資料や進行方法も工夫を加えました。子どもたちにも関心を持ってもらうことは重要だと考えます。今後も、御要望に応じてこの計画に関する説明会や出前講座等も開催し、幅広い御理解と、積極的な協働・参画を得てまいりたいと考えています。</p>